



平成26年11月27日

各 位

会社名 株式会社長野銀行
代表者名 取締役頭取 中條 功
(コード番号 8521 東証第一部)
問合せ先 常務取締役総合企画部長
岩垂 博
(TEL. 0263-27-3311)

当行と連結子会社との合併に関するお知らせ

株式会社長野銀行（頭取 中條功）（以下「当行」という。）は、連結子会社である株式会社ながぎんビジネスパートナーズ（代表取締役 酒井尚）（以下「本件子会社」という。）を、平成27年2月26日をもって吸収合併（以下、本合併という。）することを、本日開催の当行取締役会において決議いたしましたのでお知らせいたします。また、本合併は、当行100%連結子会社を対象とする吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

なお、本件につきましては、関係官庁等の許認可を得られることを条件といたします。

記

1. 本合併の目的

当行は、地域のお取引先企業の経営改善支援、企業再生支援の取組みを強化する目的のため、平成22年11月に本件子会社を設立し、会社法上の会社分割の制度の活用により、当行から再生支援対象債権の移管を行い、本件子会社を通じて企業再生支援業務に取り組んでまいりました。その結果、本件子会社による企業再生支援は、着実にその実績を積み上げることができ、地域経済の活性化に貢献できたと考えております。また、本件子会社による取組みを通じ、当行としても企業再生に関するノウハウの蓄積、外部機関とのネットワークの構築および人材の育成が図れたところでございます。こうした状況から、お取引先企業の経営改善支援、企業再生支援の取組みに対し、当行グループとしてのシナジーをより一層発揮させるため、本件子会社の合併を決議いたしました。

2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

取締役会決議日	平成26年11月27日
株主総会開催日	(簡易合併のため株主総会における承認手続きは不要)
契約締結日	平成26年11月27日
実施予定日(効力発生日)	平成27年2月26日(予定)

(2) 本合併の方式

当行を存続会社とする吸収合併方式で、本件子会社は解散いたします。

(3) 本合併に係る割当ての内容

本合併による株式その他の金銭の割当てはありません。

(4) 本合併に伴う新株予約権に関する取扱い

該当する事項はありません。

3. 本合併の当事会社の概要

	存続会社	消滅会社
(1) 名称	株式会社長野銀行	株式会社ながぎんビジネスパートナーズ
(2) 所在地	長野県松本市渚二丁目9番38号	長野県松本市渚二丁目9番38号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役頭取 中條 功	代表取締役 酒井 尚
(4) 事業内容	銀行業	貸金業等
(5) 資本金	13,000百万円	100百万円
(6) 設立年月日	昭和25年10月13日	平成22年11月5日
(7) 発行済株式数	92,410,000株	173,000株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 大株主及び持株比率	大株主（自己株式含まず） 日本トラスティ・サービス信託銀行 株（信託口）6.08% 長野銀行職員持株会 5.01% 日本トラスティ・サービス信託銀行 株（信託口4）3.27% 株栃木銀行 1.80% キッセイ薬品工業株 1.80%	大株主（自己株式含まず） 株式会社長野銀行 100%
(10) 経営成績及び財政状態		
直近事業年度（平成26年3月期）	株長野銀行（連結）	株ながぎんビジネスパートナーズ（単体）
純資産	47,579百万円	3,953百万円
総資産	1,084,159百万円	4,004百万円
1株当たり純資産	523円38銭	34,547円35銭
経常収益	24,095百万円	77百万円
経常利益	3,981百万円	△410百万円
当期純利益	2,481百万円	△412百万円
1株当たり当期純利益	27円58銭	△3,341円04銭
1株当たり配当金	5円50銭	—

※ 存続会社および消滅会社は、平成26年9月30日現在の概要を記載しております。

4. 本合併後の状況

本合併後の当行の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期に変更は、ありません。

5. 今後の見通し

本合併は、100%連結子会社との合併であるため、連結業績に与える影響は、軽微なものを見込んでおります。

（参考）当期連結業績予想（平成26年11月11日公表分）及び前期連結実績（単位：百万円）

	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 （平成27年3月期）	3,100	1,850
前期連結実績 （平成26年3月期）	3,981	2,481

以上